

「福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧」関連
エデュケーター・ラリープログラム

あらわる★ ミカタ案内人

「福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧」を様々な角度から楽しむワークショップを開催します。本展は、千葉市美術館のコレクションから、福田美蘭さんが選定した江戸・明治時代の美術をきっかけに、新たに創作された作品を中心に紹介しています。江戸絵画×現代美術、楽しみ方はいろいろ。たのしい「ミカタ案内人」といっしょに、作品のミカタをどんどんひろげましょう！

企画展
情報

福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧
二〇二二年十月二日(土)ー十一月十九日(日)



目の見えない白鳥さんと一緒に楽しむ 美術鑑賞プログラム

お申込み先



佐藤麻衣子さんと全盲の白鳥建二さんをナビゲーターに、見える人と見えない人と一緒に展覧会を鑑賞するツアーです。

10月16日[土]

①10:30-12:00 / ②14:30-16:00

- 講 師：佐藤麻衣子(エドゥケーター/プログラムコーディネーター)
白鳥建二(全盲の美術鑑賞者)
- 会 場：福田美蘭展会場(8・7階展示室)
- 定 員：各回5人(事前申込・抽選)
- 参 加 費：無料(要企画展観覧券)
- 申込締切：10月3日[日]

佐藤麻衣子

撮影：スズキアサコ



水戸芸術館現代美術センター教育普及学芸員を経てフリーランス。高校生の時に現代美術に出会い、作品やアーティストの考え方に救われた経験から、美術館に行ったことがない人や美術に苦手意識のある人も楽しめる、ワークショップや鑑賞プログラムの企画運営をしている。2021年秋より文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてオランダに滞在予定。

白鳥建二

撮影：市川勝弘



生まれつき強度の弱視で、9歳の頃からほぼ全盲。26才のころに美術鑑賞に関心を持ちはじめ、単独で美術館へ行くようになり、会話をしながら作品鑑賞をする活動を始める。視覚に障害のある人となりが一緒に鑑賞するプログラムに約20年関わっている。「見えること」、「感じること」、「伝え合うこと」など、鑑賞や日常に直結するような、基本的な問いを発信している。

ずらしの鑑賞、ずらしの創作

お申込み先



福田美蘭さんの作品の特徴のひとつに「ずらし」があります。「ずらし」とは、既存知識や事例の一部の特徴を変更しながら、新しいものごとを創造する過程です。「ずらし」の視点を対話型鑑賞を通して体験し、創作のエクササイズを通じて、自分なりの「ずらし」の視点を獲得していきます。

12月11日[土]

①10:30- / ②14:00- (各回2時間程度)

- 講 師：臼井隆志(株式会社MIMIGURI アートエドゥケーター)
夏川真里奈(株式会社MIMIGURI アートエドゥケーター)
- 会 場：福田美蘭展会場(8・7階展示室) / 5階ワークショップルーム
- 定 員：各回6人(事前申込・抽選)
- 参 加 費：無料(要企画展観覧券)
- 申込締切：11月28日[日]

臼井隆志



慶應義塾大学総合政策学部卒業。ワークショップデザイン的手法を用い、乳幼児から中高生、ビジネスパーソンを対象とした創造性教育の場に携わる。MIMIGURIではアートエドゥケーターとして、組織開発、ファシリテーター育成、教材開発を行う。主な著書に「意外と知らない赤ちゃんのきもち」(スマート新書)がある。

夏川真里奈



東京都出身。幼少の頃より、特殊な創造性教育を受けて育つ。東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程美術選修卒業。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。幼・小・中(美術)・高(美術)の教員免許を保有し、創造性や主体性の開発をテーマに実践と研究を行う。学校教育への問題意識から、公立中学校の美術教員を経たのち、株式会社MIMIGURIに参画。MIMIGURIでは主に創造性を育むワークショッププログラムの開発・実施や、グラフィックレコーディングを担当している。

けむそう会?

プログラム詳細



～あなたのもやもや、みんなでもくもく～

自分が「ちょっと嫌だな」「あれがしたかったのにな」「もやもやする」と思うことはありませんか?本展のメインイメージである福田美蘭さんの作品の元になった月岡芳年《風俗三十二相 けむさう 享和年間内室之風俗》に、そのもやもやを紙を使って煙の形にしてみましょう。もやもやのかけらが集まると、もっと大きな煙がもくもくと立ちこめます。

10月31日[日]

11:00-15:00(当日随時受付)

- 講 師：小田久美子(エドゥケーター)
- 対 象：どなたでも *はさみを使い慣れていないお子さんは保護者同伴
- 会 場：7階展示室前ロビー
- 参加費：無料

小田久美子



©ENOMOTO HIROKO

鹿児島や群馬のNPOや美術館での教育普及事業に携わり、2018年よりフリー。地域におけるアートを通じた学びの状況が生成される場に関心があり、福祉施設や学校でのアーティストワークショップのコーディネートや記録・編集をしたり、はたまた旧酒造の切り株を掘り起こしたりする雑系エドゥケーター。

みるみる「ミカタツール」

お申込み先



福田美蘭展をより楽しむためのアイテム「ミカタツール」*を、作者の藤田さんと一緒に120%遊び尽くします!親子で美術を楽しむヒントが盛りだくさん!当日限定のスペシャルツールもご用意しています。

11月13日[土]

①10:30-12:00 / ②13:00-14:30 / ③15:00-16:30

- 講 師：藤田百合(エドゥケーター)
- 対 象：5歳以上のお子さんと保護者
- 会 場：4階市民アトリエ
- 定 員：1回につき1家族(事前申込・抽選)
- 参 加 費：300円(1家族分/大人は要企画展観覧券)
- 申込締切：10月31日[日]

藤田百合



撮影：村松成美

女子美術大学特命助教。東京国立近代美術館教育普及室の研究補佐員を経て現職。展示作品と子どもをつなぐツールを数多く制作。各地の美術館などでワークショップを企画実施。共著に『絵本ワークショップ』(朝倉書店)。

*「ミカタツール」(対象年齢:小学校中学年~高校生、なくなり次第配布終了)は、「福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧」の鑑賞補助教材です。会期中、休日限定で、展示室入口にて配布しています。

アナがあくほどミテみたら

お申込み先



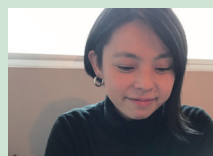
その日その場で出会った人たちとお喋りをしながら、みたまのや感じたことを交換しながら作品の観察を深めます。本プログラムでは2つの作品を、時間をかけてじっくりと鑑賞。いつもの「みる」のその先に一緒に行ってみませんか?

11月27日[土]

①11:00-12:00 / ②14:00-15:00

- 講 師：齊藤佳代(エドゥケーター/鑑賞ファシリテーター)
- 会 場：福田美蘭展会場(8・7階展示室)
- 定 員：各回6人(事前申込・抽選)
- 参 加 費：無料(要企画展観覧券)
- 申込締切：11月14日[日]

齊藤佳代



およそ10年間の美術館勤務ののち2014年よりフリーランス。アート作品がある場における個人の学びと人生への還元をキーワードに活動している。中でも言葉によるコミュニケーションを媒介として作品の観察を掘り下げることに軸足を置きながら、「みる」行為の可能性を探る。国際基督教大学、東京家政大学、武蔵野美術大学通信課程非常勤講師。